

認知症専門施設からのおたより

ぼくの おばあちゃんのこまりごと 楽しくカイケツ!

にんちしょう 認知症と服



こんな時、
どうしたらいい？



マンガでGO→

認知症と服 始まりは…



服が山積みなのに
同じ服ばかり
着ている

認知症かも?!

タイプ1 花よさんの場合
ハッキリ思い出せないので
強く思い込む。



対応

- ・事実かどうかではなく、
あつたはずのものがない、わからないといった不安に寄り添い、本人の「気持ち」に共感する
- ・他の失敗や記憶障害の受け入れ難さから
服にこだわることがあるので
持ち物は極力シンプルにし
生活全体をわかりやすく

あまり続くなれば他の人が管理



服が山積みなのに
同じ服ばかり
着ている

認知症かも?!

タイプ2 花次郎さんの場合
気候(あつさ・さむさ)が
わからぬ。



対応

- ・高齢者は予備的な体力が少なく、
気候の変化の影響で体調を崩しやすいので
自覚しにくい変化に注意
- ・運動、おしゃべり、温かい飲み物など
服を着こむ以外の方法で安心感、
温かさを感じてもらう

介助者が着替えの管理を

認知症って?

- ・短期記憶障害(たんききおくしょうがい)
昔のことは覚えているが、さっきあったことを忘れる
- ・見当識障害(けんとうしきょうがい)
人、場所、時間がわからなくなる

- ・失語(しつご)
言葉がわからなくなる
- ・失行(しちょう)
ご飯の食べ方など動作ができなくなる
- ・失認(しつにん)
ご飯、道具などの物や状況がわからなくなる



タイプ3 花えさんの場合
「ちゃんとしない」と
言われていると感じムキになる



対応

- ・「汚れている」からと思わせずにトイレのついでなどにさりげなく、さっと回収する
- ・お出かけ、来客、料理の前に、など
着替えるキッカケ、楽しみを作る

お手入れしやすい服を、
互いに楽なタイミングで
着替える習慣に

さらに
重症になると…



その素材・形・枚数が
本当にずっと必要?

服へのこだわりが生き様!



介助者が管理すると
尊厳を奪う?

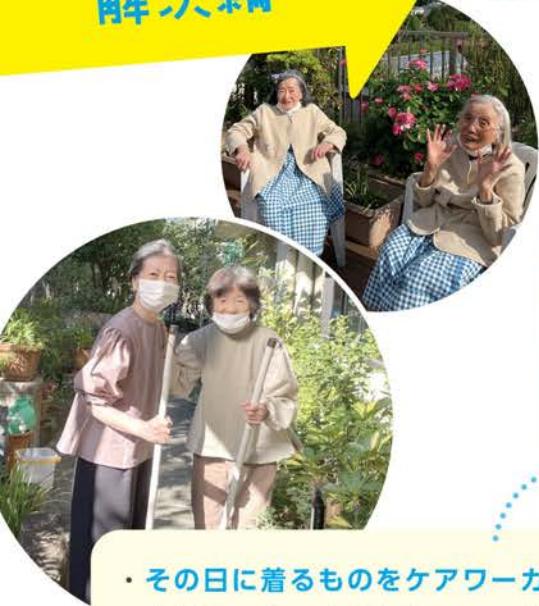
本当にそうでしょうか?

解決編

認知症専門施設「北白川の花の家」で実践

服は全て共用、施設が管理

おまかせ服



ワシマイルウェア
(寝ても出かけてても
OKなデザイン)



明るい色・
デザインで
若い人にも
ほめてもらえて
楽しめるもの

- ・その日に着るものケアワーカーが選び、1人分ずつ箱に入れてお渡し
- ・寒がり、大きめが好き、この色が好きなど、
その好みに合わせて選ぶ
- ・機能面だけでなく明るい色や流行を取り入れたものを担当スタッフが厳選
して揃えているので、着てみたいという新鮮な気持ちやご家族の良い反応
につながり服へのこだわりが強い方も楽しく取り組めている

全国で初めての取り組み

本文のマンガのような風景は、認知症ケアでは日常茶飯事です。認知症専門施設「北白川の花の家」では少しでも互いの負担を減らしたいと悩み 2022 年から衣類を全て共用化しました。服へのこだわりの強い方が受け入れてくださるのか心配でしたが、始めてみると楽しさの方が大きかったようで、すぐに馴染まれ、元々あった混乱がなくなりました。「今日はどんなの？」と一人で着替える方、助け合いながら着替える方もあります。全国でもおそらく初のこの取り組みは、ご利用者のご家族が、ご本人の快適さだけでなくケアワーカーの負担軽減を大切に考え、共感してくださることで実現できました。とてもありがとうございます。是非ご家庭でも参考にしてみてください。



～服は本人がしたいように、でないと

「尊厳を奪うことになる」と考えている方へ～

服があふれる現代。元々ネットで自分の子どもの服を選ぶのが好きで、ケアする側の都合と本人の満足とが折り合いのつくデザインはあると確信していました。今回の共用化を始めてみて、いかに認知症の方にとって服を選ぶ・整理する・保管することが負担になっていたのかがわかりました。超高級ブランドの服を家いっぱいに持つ人も、おしゃれ上級者も、お金や家のことと同じように管理が困難になっていきます。服装へのケアが遅れると、体調だけでなく不安が激しくなり、他のトラブルへ広がっていくこともあります。本人の表面的な言葉やこだわりよりも、本当に「安心」「快適」「自分らしい」と感じられるのはどんな状態か周りが考え、管理することでお互いに負担や苦痛が軽くなることを少しでも知ってほしいと思いこの冊子を作りました。

私たちはこれから未曾有の超少子高齢社会に突入します。これまでにない知恵をみんなで出し合い、より簡単で誰もが楽しんで暮らせる介護にしていきましょう。

漫画・文：西原のり子（日本いのちの花協会代表・保健師・ケアマネジャー）

発行：日本いのちの花協会

〒606-8222 京都市左京区田中樋ノ口町 31 <https://www.inochinohana.net/>